

# 千葉市斎場運営支援システムに関する用語等の解説

(平成29年2月)

CFH	千葉市斎場の英語表記「ChibaCity-FuneralHall」の略で、千葉市斎場運営支援システム全体を指します。システムは、予約、表示、放送、管理の4つのシステムで構成されています。便宜上、予約システムのアイコンとしています。予約システムは、WEB(インターネット)、電話(基本的には、ID登録前の葬祭業者、および市民用)と平成29年末までの経過措置としてFAXによる音声自動応答方式があります。 ※アイコン:スマホ、タブレット、PC等のデスクトップにもいくつか小さな絵が並んでると思いますが、これがアイコンです。パソコンやプログラムの機能、ファイルの内容などを小さな絵・画像で表現しぱっと見てどのような機能があるのか分かりやすくしたものです。
スマホ、タブレット	CFHで使用できるものは、インターネット接続ができるものが前提となります。空き照会の画面からログイン画面、予約画面へと進めるようになっていきます。
画面遷移	画面の切り替わりをいいます。CFHでは、30分以上同じ画面の場合は、保存されずに再入力となってしまいます。20分程度で一時保管または確定してください。
ログイン	予め登録いただいたID登録番号とパスワード(電話自動応答は暗証番号)によりシステムを利用する場合に、ログインといえます。
ID登録番号	登録申請書を提出し、数字5桁で千葉市から指定された番号です。今回、あらためて誓約書を提出していただきましたが、従来の番号がそのままご使用いただけます。
パスワード	WEB方式のパスワードとなります。(初期パスワードは、chibaの後にID登録番号下4桁を繋げたものです。)初回ログイン後、ただちに必ず変更してください。(変更せず不利益があっても自己責任となります)
暗証番号	FAXによる自動電話応答方式の場合を暗証番号と呼びます。WEB方式のパスワードにあたるもので、ID登録番号下4桁となります。(初期の暗証番号になります。変更は、身分証持参のうえ斎場事務室まで申請ください。)
WEB	WWW(World Wide Web:ワールド ワイド ウェブ)の事で、Webとは、「クモの巣」や「クモの巣状の物」を表します。インターネットで標準的に用いられるHTML文書などを利用し文字、画像、動画、音楽などを簡単に利用する事が出来るシステムで、世界中に向けてインターネット上で、文章などを公開されているページを「Webページ」と呼びます。最近では、「Webページ」や「Webサイト」の事を「ホームページ」と呼ぶことが多いです。インターネット方式と呼ばれることも多く、今後、斎場予約システムが新規導入されていく各市の方式はこの方式となることが多いようです。インターネットで接続し文字を入力したり項目を選択するだけで予約が完了します。
音声電話	ID登録されていない一般市民の方や未登録の葬祭業者の方で初回のみ音声電話で受付することも可能です。ただし、斎場職員が入力している間に、WEB予約等で予約完了となってしまう場合がありますのご了承ください。
電話自動応答	旧来のFAXによる自動応答となります。この方式は、平成29年末までの経過措置となりますのでWEB方式での予約に切り替えてください。
予約システム	WEB、電話自動応答、音声電話受付分で予約された内容を、まとめて管理します。空き状況は、ID登録業者以外の方もご覧いただけます。この空き状況画面からIDとパスワードでログインし選択したり文字入力したりすることで予約が完了します。この画面で入力されたデータが、表示システムや放送システムに自動的に引き継がれます。予約時は、死亡者のお名前と死亡日等の最小限のデータで予約自体は完了しますが、詳細データ入力を予約日前日12時までに完了しないと無効となります。また、火葬許可書の写し等の送付は、メールでは確認できませんので、FAX等で期限までに事務室まで送付が必要です。
表示システム	予約システムから引き継がれたデータを基に、案内表示を行います。
放送システム	予約システムから引き継がれたデータを基に、自動音声合成により放送を行います。また、緊急用に肉声による放送も対応します。
管理システム	音声電話で受け付けした市民からの直接予約分の入力や予約システムから引き継がれたデータの確認、到着処理、領収書の発行や部屋、炉の割り付けなどや各種帳票の管理を行います。
表示器	炉前や控室、式場前、廊下等に設置されている画面のことです。今回のシステム更新で、テレビ映像方式からデジタル式のPC式のモニターに交換し故障しても安価にすぐ交換できるように設置も内臓ではなく露出方式に改めました。また、間にタイマーを設置し製品の長寿命化、電気使用料の削減を図っています。また、画面パネルは、IPSパネルという画角が広いものを採用し斜めからでも確認できるものとなりました。また、待合ホールと、待合棟入り口に大型モニターを増設しました。
QRコード	日本のデンソーという会社が開発したもので、QRはQuick Responseに由来し、高速読み取りができるようになっていきます。アナログとデジタルを橋渡しするもので、スマホやタブレットのカメラで、QRコードアプリなどを使い読み込むことで、インターネットのURL(例:https:chibacity-funeralhall.jp)を入力しなくても、入力した状態で表示できます。あとは、接続することでそのホームページに接続できます。この状態でアイコンをデスクトップ画面に登録しておけば、次回からは、選択するだけで接続できます。